

税について考える！

未来支える「税」学ぶ

久御山
中学校 専門家が3年生に授業

久御山中学校（南亮
司校長）で6日、日本
税理士会連合会の税理
士を講師に招いた「租
税教室」があり、3年
生140人が税の意義

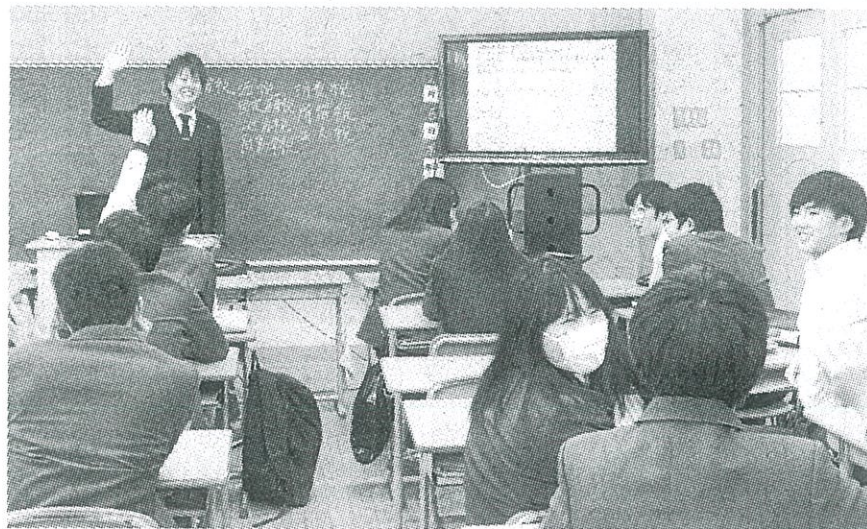
や役割を学んだ。

同校で長らく行われ
ていなかった取り組み。
同連合会の税理士4人
が来校し、クラスごと
に授業を行った。

消費税や所得税、地
方税といった税の種類
と特徴を説明。「税金
は公共サービスを受け
る「会費」と分かり
やすく例え、消防やゴ
ミ収集、道路整備など
身近な公共サービスが
税込で成り立っている
ことを、映像教材も交
えて伝えた。

また、「政治への参
加と国を支える税金を

国民が負担することが
対になっているのが民
主主義の基本」と強調。
税込不足を国債で補填



する「国の借金が増え
ている」現状を踏まえ、
「豊かで安心して暮ら
せる未来のためには、
社会の動きに関心を持
ち、公平な税負担と給
付の関係を一人ひとり
考えることが大切」と
呼び掛けた。

消費税率10%への引
き上げのメリッ
トとデメリット
の両面の説明を
受けた上で、増
税の是非を自由
に考えたクラス
もあり、暮らし
に身近な話題で
生徒たちの知的
好奇心を刺激し
た。【写真―税
理士から説明を
聞き、消費増税
の是非を考える
生徒たち】



豊かで安心して暮らせる未来のためには、
公平な税負担と給付の関係について、
わたしたち一人ひとりが考えることが大切です。

道標(号外)